

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

【運営方針】

当法人は、札幌市における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに市民の学習活動を総合的に支援し、もって生涯学習の推進に寄与することを目的とし、定款(第4条)に次の事業を行うことを定めている。

令和6年度も、この内容に沿った事業を展開した。

- (1) 生涯学習に関する学習機会提供事業
- (2) 生涯学習に関する活動支援事業
- (3) 生涯学習に関する指導者・支援者の養成・活用事業
- (4) 生涯学習に関する情報収集・提供事業
- (5) 生涯学習関連施設の管理運営事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業区分】

実施する事業については、公益目的事業と収益事業等に区分し、以下のとおりとする。

<公益目的事業>

生涯学習普及振興事業

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業	2
1 学習機会提供・活動支援事業	2
2 学習支援者活用・育成事業	7
3 生涯学習センター管理運営事業	8
II 札幌市青少年科学館等管理運営事業	12
1 科学及び科学技術普及振興事業	12
2 青少年科学館等管理運営事業	20

<収益事業等>

物品販売等事業	26
生涯学習施設の公益目的外貸与等事業	26

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系の各種講座を実施した。市民のさまざまな学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生（市民講師）による企画講座を実施するなど、多くの市民が講座の企画・運営に参画できる機会を提供した。

さらに、市立札幌大通高校を会場として、高校生と社会人が一緒に学ぶ「学社融合講座」では、受講者の世代を超えた交流が図られた。

ア 市民活動系

まちづくり活動へのきっかけづくりや地域への関心を高めること、趣味や特技を生かして社会参加を促すことを目的とした講座を実施した。

【主な講座】

「さっぽろ 10 区めぐり（手稲区編）」（生涯学習センター企画講座）

「社会に役立つ仕事づくり」（生涯学習センター企画講座）

「わかる！伝わる！マンガのチカラ」（生涯学習センター企画講座）

「災害時、トイレは一体どうなる！？」（生涯学習センター企画講座）

「超小型人工衛星で挑む世界進出」（生涯学習センター企画講座）

「逃げろ！火事からの正しい脱出 ～避難訓練つき火災予防講座～」（生涯学習センター企画講座）

「基礎から学ぶ動画編集 2024」（学習支援者協働企画講座）

「楽しく歌ってボランティア」（学習支援者協働企画講座）

イ 産業・ビジネス系

時代とともに変化する消費者ニーズをつかむマーケティング講座、コミュニケーションスキルなど、ビジネススキル向上につながる講座を実施した。また、Zoom を活用したオンライン講座も実施した。

【主な講座】

「長く愛されるビジネスの作り方」（生涯学習センター企画講座）

「はじめての Canva 入門・デザイン編」（生涯学習センター企画講座）

「仕事で使える対話のポイント」（生涯学習センター企画講座）

「今から始める LINE 公式アカウント入門編」（生涯学習センター企画講座）

「はじめてのプログラミング」（学社融合講座）

ウ 文化・教養系

趣味や教養、生きがいづくりや仲間づくりにつながる講座、現代的な課題をテーマとした講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。

【主な講座】

- 「魅力いっぱい！発酵食品の世界♪」（生涯学習センター企画講座）
- 「神社仏閣の魅力に触れよう！」（ちえりあ学習ボランティア企画講座）
- 「もっと知りたい！気候変動の今」（ちえりあ学習ボランティア企画講座）
- 「やさしい手話講座」（学社融合講座）
- 「タイ語を話そう」（ご近所先生企画講座/豊平区民センター）
- 「歴史ドラマで学ぶ日本史」（ご近所先生企画講座/東札幌図書館）
- 「筆ペンでアートな作品を書こう」（ご近所先生企画講座/厚別図書館）
- 「お酒との上手な付き合い方」（企業連携講座）

○ ご近所先生企画講座

市民が講師（＝ご近所先生）となり、自身の知識・特技・経験を生かした講座を生涯学習センターのほか、区民センターや地区センター、図書館などで開催するもの。

○ ちえりあ学習ボランティア企画講座

市民カレッジの企画に参画するボランティアグループ「ちえりあ学習ボランティア（ちえボラ）」が講座の企画運営等を行うもの。

○ 学社融合講座

市立札幌大通高校を会場に実施する講座で、高校生と一般受講生が共に学ぶもの。

（2）生涯学習関連講座（市民カレッジ関連）

市民カレッジのうち、大学・行政機関・民間企業・市民活動団体や専門機関などと連携して開講した講座は次のとおり。

ア 大学との連携事業

大学と連携して互いの特性を生かした講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
北海学園大学	「わくわく親子バルーンアート教室」	10 組 20 名
	「和菓子を楽しく作ってみよう」	16 名
札幌市立大学	「小樽の歴史的建造物をたどる」	20 名
北海道科学大学	「小さいけどすごい！進化する半導体」	15 組 30 名

イ 行政機関連携講座

市内の図書館と連携し、ご近所先生企画講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
中央図書館	「文字だけで伝える文章術」	10 名
新琴似図書館	「新！はじめての筆ペン講座」	10 名
	「親子のための心理学」	11 名
元町図書館	「発達凸凹の子を楽しく育てる」	18 名
	「指で描く癒やしのパステル」	6 名
東札幌図書館	「指で描くパステル和アート」	12 名
	「歴史ドラマで学ぶ日本史」	18 名
厚別図書館	「大人のメイクアップレッスン！」	13 名
	「筆ペンでアートな作品を書こう」	19 名
山の手図書館	「姿勢を整える歩行術」	11 名
	「筆ペンで自分自身を表現しよう！」	11 名
曙図書館	「初めてのかぎ針編み」	4 名

ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、より専門的で深い知識を提供した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
雪印メグミルク株式会社	「牛のお話と工場探検！」(夏)	20 組 40 名
	「牛のお話と工場探検！」(冬)	18 組 36 名
東洋水産株式会社	「子どもラーメン道場」	10 組 20 名
	「おいしい『めんつゆ』の虎の巻！」(午前)	19 組 38 名
	「おいしい『めんつゆ』の虎の巻！」(午後)	20 組 40 名
アサヒビール株式会社	「つくって、学ぼう！SDGs」(夏)	7 組 14 名
	「つくって、学ぼう！SDGs」(冬)	5 組 10 名
	「お酒との上手な付き合い方」	31 名
株式会社日本能率協会マネジメントセンター	「自分らしい時間<とき>を描こう！」	8 名
NoMaps	「札幌国際短編映画祭の舞台裏」	4 名
	「生成系 AI を活用して企画書を作成しよう」	15 名
株式会社明治	「発見！チョコレートのひみつ」	14 組 28 名
株式会社ルピシアグルマン	「知られざる新商品開発の舞台裏」	28 名

エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

市民活動団体や専門機関と企画段階から連携し、現地学習を交えるなど、専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
石山大学	「旧石切山駅から旧藤の沢跡地をたどろう」	20 名
円山動物園	「オランウータンから環境問題を考える」	20 名

● 市民カレッジ講座内訳（単位：件）

	センター 企画講座	ご近所先生 企画講座	ちえボラ 企画講座	学社融合 講座	講座数計	受講者数
市民活動系	31	0	0	5	36	753 名
産業・ビジネス系	34	0	0	3	37	604 名
文化・教養系	17	91	15	11	134	2,472 名
合計	82	91	15	19	207	3,829 名
（参考）令和5年度の合計	78	85	15	25	203	3,834 名

※ 市民カレッジ全体の講座内訳であり、(2)の生涯学習関連講座も含む。

【さっぽろ市民カレッジあり方検討事業(中期経営計画・重点取組事業)】

中期経営計画の内容

時代や環境の変化に合わせて市民カレッジの体系や運営方法などについて検討を加え、見直しを図る。

令和6年度の取り組み

市民カレッジ全体の検討の一つとして、ご近所先生企画講座における図書館との連携のあり方について調査・研究し、現状と課題をまとめた。

【生涯学習センター利便性向上事業①(中期経営計画・重点取組事業)】

中期経営計画の内容

市民カレッジの申し込み手続きの簡素化に取り組み、利用者の利便性向上を図る。

令和6年度の取り組み

市民カレッジの申し込みの簡略化、受講料のキャッシュレス決済やコンビニ決済などに向け、システム改修の調査を行った。

(3) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

札幌市生涯学習センター、札幌市宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢、札幌市教育センターの4団体が、合同で生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを実施し、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。

【実績】 実施日 8/25(日) 来場者数7,021名

イ ゆりかごコンサート

音楽に親しむ機会の少ない子育て中の親を対象に、その子どもと一緒に気軽に音楽を楽しんでもらえるコンサートを、ちえりあホールにて開催した。

【実績】

実施日	出演者	参加者数
10/18(金)	音楽工房 ToTo とまと	219 名

ウ カルチャーナイト(主催:カルチャーナイト実行委員会)

「カルチャーナイト」には毎年度参加をしており、令和6年度はアニメの無料上映会を実施した。

【実績】 実施日 7/19(金) アニメで楽しむ「ざんねんないきもの事典」

実施回数2回 来場者数201名

エ 生涯学習支援スペース「ちえテラス」運営

生涯学習支援スペース「(愛称) Chie Terrace (ちえテラス)」で、メディアプラザ職員による「おはなし会」や、市民カレッジ修了生を中心に結成された読み聞かせボランティアによる「えほんのよみきかせ」を実施した。

【実績】

内容	回数	参加者数
おはなし会	4 回	99 名
えほんのよみきかせ	9 回	321 名

(4) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあを中心に市内各地で活動しているサークルの活動意欲の向上と活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることをねらいとして、各サークルの学習成果を発表する場を提供した。

【実績】

実施日	開催部門	参加団体数	来場者数
11/3(日)~9(土)	作品展示部門	20 団体	—
11/5(火)	舞台発表部門(音楽)	16 団体	193 名
11/6(水)、8(金)、9(土)	舞台発表部門(舞踊)	36 団体	903 名

※ 展示部門はロビーを会場としており出入り自由であったことから、来場者のカウントは未実施

イ ロビーコンサート

市内や市近郊で音楽活動などに取り組む個人や団体に、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらえる機会を提供した。

【実績】

実施日	団体名	来場者数
5/11(土)	河 KAPPA 童	99 名
6/8 (土)	和の会	136 名
7/13(土)	ウクレレたまうた団	99 名
9/14(土)	tiny ☆ fox quintet	134 名
10/12(土)	Trio Rhythmalletz	150 名
11/16(土)	Noah's ARK	123 名
3/8(土)	Clarinet duo	134 名

2

学習支援者活用・育成事業

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業(ご近所先生)

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、説明会のほか、受講者とのコミュニケーションや指導方法など講師のスキルアップを目的とした研修会を実施した。

【実績】説明会 4 回 参加者数 101 名(うち2回オンライン)

研修会 4 回 参加者数 83 名

交流会 1 回 参加者数 22 名

イ 生涯学習ボランティア育成事業

市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」(登録 53 名)の活動として、企画内容や運営方法について話し合う定例会を毎月 1 回実施した。また、活動のスキルアップにつながる研修会を実施した。

【実績】定例会 12 回 研修会 4 回

ウ 職場体験などの受け入れ

社会教育を学ぶ大学生等の受け入れを行った。

【実績】

実施期間	学校名	参加者数
8/21(水)~25(日)	札幌市立大学	1 名
10/17(木)	北海学園大学	9 名
10/30(水)	札幌市立栄中学校	4 名
11/5(火)~9(土)	札幌国際大学	1 名

エ 生涯学習関連施設職員等の研修事業

区民センター、地区センター、図書館などの職員を対象に、生涯学習施設における講座の発想からタイトルの作成方法、チラシ作りの手法などを学ぶ研修を実施した。

【実績】2月25日(火) 21施設 25名

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用・育成事業

市民カレッジの受講修了者で結成されたボランティア団体に学んだ成果を生かしてもらうため、生涯学習センター事業への参画を促した。また、他団体からの依頼を生涯学習センターが受け、各ボランティア団体の活動の場を広げる機会を提供した。

(ア) ちえりあビデオクルー

ビデオ撮影・編集を中心とした活動や講座の企画、運営を行った。

【実績】登録者数11名 月例会 12回 講座企画・運営2講座

(イ) コーラスボランティア

合唱を中心とした福祉施設への訪問や講座の運営補助を行った。

【実績】登録者数17名 講座運営補助 1講座

(ウ) カメラボランティア

写真撮影を中心とした活動や講座の企画、受講者の補助（講座運営補助）を行った。

【実績】登録者数12名 月例会 12回 講座運営補助 1講座

3 生涯学習センター管理運営事業

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。

【実績】貸室利用件数 12,030件 貸室利用率70.2%

イ ホール有効活用事業(試行実施)

ホールの閑散期に、60分単位でステージを貸し切り、グランドピアノの弾き比べができる「スタインウェイとヤマハの響きを楽しもう」を実施した。

【実績】1/8(水)、13(月・祝) 計2日間 参加者数 11組 46名

【生涯学習センター貸室利用促進事業（中期経営計画・重点取組事業）】

中期経営計画の内容

より多くの方々に学びの場を提供するため、貸室に係る情報発信の強化や利用者にとって魅力あるサービスの提供に取り組む。

令和6年度の取り組み

ホールでのピアノの弾き比べ「スタインウェイとヤマハの響きを楽しもう」に加え、利用率の低いアトリエをダンスや太極拳等でも利用してもらえるよう、アトリエ内にある机を移動しやすいものに交換した。

また、「コスプレ」などの写真撮影で利用してもらえるよう、特色のある貸室などを職員が案内する「内覧会」を実施した。

【生涯学習センター利便性向上事業②(中期経営計画・重点取組事業)】

中期経営計画の内容

生涯学習センターにおける施設使用の受付手続きの見直しに取り組み、利用者の利便性向上を図る。

令和6年度の取り組み

令和7年2月から毎月初めの一斉予約を事前にメールなどで応募できる方法とし、来館を不要にするとともに、令和7年9月に予定している「操作しやすい貸室システム」の稼働に向け、取り組みを進めた。

ウ ロビー・ギャラリーの活用

ロビーにて市民カレッジの講座情報を紹介する展示などを行った。また、一般の団体の作品発表の場などとしてギャラリーを提供した。

【実績】ロビー12件 ギャラリー13件

エ 学習のための施設開放

市内の高校の学校休業期間等に合わせ、前日までに利用申し込みのなかった貸室を学習の場として無料開放するなど、施設の有効活用に努めるとともに、施設開放の実施状況をホームページに掲載し、利用者の利便性向上を図った。

また、利用者の声を受けて、自習や打ち合わせなどができる「交流学习コーナー」の机を増やし、より多くの市民が利用できるように改善した。

【実績】夏季期間(7/24(水)～8/25(日)) 計18日間 622名

冬季期間(12/1(日)～2/28(金)) 計46日間 935名

交流学习コーナー(年中利用可)の座席数 32席から48席に増席

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

生涯学習に関する相談に幅広く対応し、相談内容によっては「ちえりあ市民講師バンク」登録講師（登録者数 212 名）の紹介や、生涯学習センターに登録されているサークルの情報をまとめた「サークルガイド」（掲載サークル数 123 団体）の配付など、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

【実績】

内容	件数
メディアプラザ学習相談	14,196 件
ちえりあ市民講師の紹介	64 件

イ 広報誌の発行

生涯学習センターの事業や講座、施設の情報を提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、市内の公共施設などで配布したほか、LINE や X（旧 Twitter）を活用した情報配信も行った。

【実績】

内容	件数等
「ら・ちえりあって」4 回発行(5 月・8 月・11 月・2 月)	各 7,000 部
LINE 公式アカウント友達登録者数	1,210 名
X(旧 Twitter)登録者数	87 名

ウ ホームページの活用

講座等の情報、貸室の空き状況、ホールの利用状況等をホームページに掲載するとともに、講座申し込みなどに対応することで、利用者への利便性の向上を図った。

【実績】 ホームページアクセス 834,598 件

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

市民向けに学習機会を提供している各種施設の主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報」を発行し、市内の公共施設などで配布したほか、ホームページ上に掲載して、情報提供を行った。

【実績】 2 回発行(8 月、2 月) 各 2,000 部

オ 「子どもの学びガイド」の発行

市内の公共施設で開催される子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、小学校の長期休業前に市内小学校の全児童に配布したほか、ホームページ上に掲載して、情報提供を行った。

【実績】 4 回発行(6 月、7 月、11 月、12 月) 各 93,000 部

カ 調査研究事業

「知の拠点」である図書館と連携実施している「ご近所先生企画講座」のより良い事業展開のあり方を探るため、図書館職員やご近所先生に、課題や意見などの聞き取りを行い、取りまとめた。

キ 札幌市生涯学習センター運営協議会の開催

生涯学習センターの事業や運営についての意見を今後の改善に生かせるよう、外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】2回開催（8月、11月）

（3）図書と視聴覚教材の閲覧・貸し出し及び資料収集ならびに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

利用者の調べ学習を支援するため、幅広い分野の蔵書約26,000冊と、クラシックを中心とした音楽資料（CD）約13,000点を閲覧及び貸し出しに供するとともに、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスにも対応し、生涯学習における図書等の活用を推進を図った。

また、メディアプラザやちえテラス等での資料の展示や職員の専門性を生かしたレファレンス（相談）業務を行い、生涯学習における図書等の活用を推進を図った。

【実績】

内容	件数等
メディアプラザ来場者数	168,912名
カウンター対応者数	57,447名
図書・CD貸出数	76,692点
図書・CD予約数	4,749件
レファレンス ※「3-(2)-ア 学習相談、サークル・講師の紹介」の実績の一部	549件

【メディアプラザあり方検討事業（中期経営計画・重点取組事業）】

中期経営計画の内容

メディアプラザに期待されている役割など、そのあり方について検討を加え、見直しを図る。

令和6年度の取り組み

メディアプラザのこれまでの経緯や現状を確認の上、「情報発信」及び「学習相談」機能の参考となるよう、他施設の調査、視察を行った。

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 日曜実験室

小中学生を対象に、豆電球と LED 電球の違い等、科学現象や身近な題材をテーマにした実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	受講者数
4月～6月	「きたぞ！明かりのだいかくめい」	34 回	474名
7月～10 月	「地震、雷、かじ、おやじ～ことわざを科学する～」	42 回	619 名
11 月～2 月	「強い形ってどんな形？」	42 回	412 名
3 月	「水の秘密いくつ知ってる？ ～水のふしぎなちから～」	12 回	160 名

※「水の秘密いくつ知ってる？ ～水のふしぎなちから～」は令和7年6月まで実施予定

(イ) 学習実験室

団体予約で来館する小学4～6年生を対象に、教育課程に沿った内容で水や磁石を扱う実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	受講者数
6月	「水」「磁石」「空気」「食塩」の実験	26回	733 名
7月		34回	950 名
8月		2回	49 名
9 月		29 回	823 名
10 月		32 回	943 名
11 月		24 回	718 名
12 月		4回	138 名

(ウ) サイエンジャー科学教室

小中学生を対象に、科学を体験的に学ぶ機会を提供した。自主企画のほかに、専門機関や企業などと連携して、より専門的な内容の科学教室を行った。

【実績】

実施日	内容	参加者数
6/8(土)	「AM/FMラジオをつくろう!」/日本無線株式会社北海道支社	15組 30名
6/22(土)	「メカトロ教室 走れ! ロボットカー」/日本機械学会	18名
8/3(土)	「迷宮ラボ 謎の液体の正体を探れ」(2回)/自主企画	34名
9/28(土)	「お天気のプロと実験! ちかくの地学」(2回)/自主企画	25名
10/26(土)	オトナサイエンス「あの懐かしい実験をもう一度(中学校編)」(2回)/自主企画	18名
11/23(土・祝)	「自分の手で、スマホを分解しよう!」/株式会社 KDDI チャレンジド	15組 30名
12/14(土)	「チリメンモンスターでキーホルダーづくり」(2回)/自主企画	24組 48名
1/13(月・祝)	「力のふしぎ発見隊～見えない力をみてみたい～」(2回)/北海道小学校理科研究会	37名

(エ) 科学館の工作室

小中学生を対象に、科学原理の理解を深めるとともに、ものづくりへの興味・関心を高めるために、工作教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
日曜・祝日 4/7(日)～8/25(日)	「さくらスコープ」「ぐるぐるおすし」「ぼんぼこりんパンダ」「フリースロー君」ほか	45回	449名
GW 4/28(日)、29(月・祝)、 5/3(金・祝)～6(月・振休)	「さくらスコープ」 「ぐるぐるおすし」	18回	219名
夏休み 7/28(日)、8/1(木)～4(日)、 9(金)～12(月・振休)、 16(金)～18(日)、25(日)	「のぞいてゾートロープ」	39回	450名
日曜・祝日 9/1(日)～12/22(日)	「メロディバースデーカード」 「くまさんの綱渡り」 「ホーホーしまふくろう」「カプセルトイ」	66回	684名
冬休み 1/5(日)～13(月・祝)	「ふわふわタコとヒコーキ」	15回	108名
日曜・祝日 1/19(日)～3/30(日)	「ふわふわタコとヒコーキ」「南窓の星空」 「バンバン空気砲」	42回	476名

(オ) 大人のための天文教室

これから星空を楽しみたいという初心者を対象とした星の基礎知識や星座早見盤の使い方を学ぶ基礎講座「やさしく学ぶ星空教室」、天体写真の撮影方法等について学ぶ「はじめての天体写真講座」、中級者向けの「詳しく学ぶ天文教室」を実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
11/1(金)、 15(金)、 29(金)	「やさしく学ぶ星空教室」	3回	28名
1/17(金)、 31(金)	「はじめての天体写真講座」	2回	15名
2/14(金)、 28(金)、 3/14(金)	「詳しく学ぶ天文講座」	3回	40名

(カ) 親子天文教室

小学生とその保護者を対象に、天文分野に関連のある工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
8/16(金)	「手作りの望遠鏡で星空を見よう」	16組 39名
8/17(土)		15組 36名
8/18(日)		20組 51名
1/11(土)	「太陽系惑星儀を作ろう」	18組 41名
1/12(日)		16組 39名
1/13(月・祝)		14組 41名

(キ) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味・関心を高めるため、第一線で活躍する専門家(JAXA 村木祐介氏)を招き、最新の天文情報に基づく講座を実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
3/15(土)	宇宙から見る地球 ～地球観測衛星と宇宙旅行～	167名

(ク) 先端科学技術講座

名誉館長である宇宙飛行士の山崎直子氏の講演会を行い、山崎氏が子どものころに見た星空や、国際宇宙ステーションから見た地球の姿をプラネタリウムで再現した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
3/26(水)	山崎直子宇宙飛行士特別講演会「これからの宇宙の仕事～未来の宇宙産業～」	173名

(ケ) 大学生による科学教室

大学生の科学教育研究を支援するとともに、子どもたちの科学への興味・関心を高めるため、大学生が小中学生を指導する科学教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
2/22(土)	「気づかぬうちにつかっている！？LEDのしくみ」 (講師:公立千歳科学技術大学の学生)	14名
3/8(土)	「楽しい！簡単！プログラミング教室」 (講師:北海道科学大学の学生)	9名

(コ) 他施設への職員派遣

他施設や団体からの依頼に応じ、職員を派遣した。

a 他施設での実演

【実績】

実施日	内容	施設名・団体名	参加者数
7/17(水)	「あつ！ベンチャーフォーラム」	あつ！ベンチャー実行委員会	16名
12/4(水)	「令和6年度北海道博物館協会ミュージアム・マネジメント研修会」	北海道博物館協会	40名
12/7(土)	「西区子ども環境広場(サイエンスショー)」	西区まちづくり協議会事務局	110名
12/13(金)	「札幌学院大学経済学特別講義」	札幌学院大学	50名
12/25(水)	「出前サイエンスショー」	るすつ子どもセンターぽっけ	80名
2/15(土)	「出前サイエンスショー」	エア・ウォーター・ライフソリューション株式会社	190名

b 他施設での投影

院内学級や養護学校からの依頼を受け、移動式プラネタリウムを用いた投影を実施した。

【実績】 実施回数 3回 実施校 2校 参加者数 54名

イ 出前イベント

(ア) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、移動天文車と職員、天文指導員を派遣し、望遠鏡を用いた天体観望や星空解説を行う観望会を実施した。

【実績】 天体観望実施 22件 曇天対応(星の解説)7件 中止 8件

(イ) 移動プラネタリウム

青少年科学館に来館できない市内の小学校を対象に、移動式プラネタリウムを用いた投影を実施した。

【実績】 実施回数 40 回 実施校 15 校 参加者数 949 名

※「1-(1)-ア-(コ)-b 他施設での投影」の実績も含む。

ウ その他科学普及に関する事業

(ア) 科学クラブ^{サイ}(Sci キッズ友の会)運営

小中学生を対象に会員を募り（R6 年度の登録会員数 40 名）、会員限定イベントの実施や各種講座の情報提供を行い、科学への興味・関心を高められるような事業を行った。

【実績】

実施日	内容	参加者数
6/15(土)	「令和6年度 Sci キッズ友の会開校式」	22 名
7/20(土)	「夏の特別展バックヤードツアー」	24 名
9/21(土)	「親子で体験！ ボディアドベンチャー」	9組 18 名
11/2(土)	「宇宙スペシャル！」	17 名
12/21(土)	「冬の特別展バックヤードツアー」	8 名
2/22(土)	「クラウドスライムをつくろう」	12 名

(イ) 職場体験などの受け入れ

児童・生徒の教育支援、地域との連携及び市民への科学知識の普及啓発に貢献するため、職場体験等を実施した。

【実績】

実施期間	学校名	参加者数
10/8(火)、9(水)	星槎国際高等学校	1 名
10/9(水)	札幌市立ひばりが丘小学校	7 名
10/11(金)	札幌市立南郷小学校	4 名
10/30(水)	札幌市立栄中学校	4 名
11/14(木)	札幌市立日章中学校	3 名
11/15(金)	札幌市立北白石中学校	4 名

(ウ) 実験実習セット貸し出し及び制作

小中学校等での効果的な授業づくり等に役立つ実験・実習セットの貸し出しを行った。

【実績】 16 団体 21 セット

(エ) 教員研修

教員を対象に、小学校理科における観察や実験の基礎、指導の実態及び工夫について学ぶ研修を行った。また、展示物を活用した授業展開についての研修を新たに実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
7/31(水)、8/8(木)、 8/19(月)、1/8(水)	札幌市教育センター専門研修 「学習指導4～理科実験～」	4回	73名
8/5(月)	札幌市教育センター専門研修「理科教育に役立つ施設活用 ①体験編、②授業づくり編」	1回	62名

(オ) 博物館実習の受け入れ

学芸員等の資格取得を目指す大学生等を受け入れ、指導を行った。

【実績】 2回

5/17(金) 見学(北海道大学)45名

9/4(水)～15(日) 博物館実習(北翔大学、北海道大学、琉球大学)3名

エ 共催事業・協力事業

(ア) 宇宙の日 作文・絵画コンテスト(主催:JAXA、公益財団法人日本宇宙少年団)

「宇宙の日(9月12日)」を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集を行った。

【実績】応募作品数 作文1点 絵画13点

表彰式 1/5(日) 作品展 1/5(日)～1/13(月・祝)

(イ) 夏休み天体観望会(共催:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群を観望する予定だったが、悪天候であったため施設屋内での星空解説を実施した。

【実績】実施日 8/12(月・振休) 参加者数 約30名(屋内対応)

(ウ) さっぽろ星まつり

モエレ沼公園を会場に、市民の天文への関心を高めるため、宇宙に関するゲームや工作、天体観望会等を実施した。

【実績】10/5(土)、6(日) 参加者数 約3,750名

(エ) その他の団体連携事業

上記以外の団体とも連携し、それぞれの専門性を生かしたさまざまな科学教室・イベント等を開催した。

【実績】

	実施日	内容	団体名	参加者数
1	6/23(日)、 7/15(月・祝)	「こども地球撮影プロジェクト in 北海道」	ソニーグループ株式会社	28名

	実施日	内容	団体名	参加者数
2	6/29(土)	「建築士お仕事体験フェス」	一般社団法人北海道建築士会	185 名
3	7/2(火) ～1/31(金)	「サイエンスパーク」	札幌市経済観光局	—
4	7/20(土)、 10/19(土)	「ちょっと大人のカルチャーナイト」	あつべつ区民協議会 食でつながろうプロジェクト	97 名
5	7/21(日)	地域プロジェクト演習 「かげであそぼう」	札幌市立大学	約 200 名
6	7/25(木) ～8/27(火)	特別展期間中の 図書特設コーナーの設置	厚別図書館	—
7	7/28(日)	サイエンス・カフェ札幌「プラネタ リウムと万博から見る『未来』の 作られ方」	北海道大学 CoSTEP	約 30 名
8	7/29(月) ～9/5(木)	「ふしぎ☆おどろきサイエンスキ ッズ～空気のふしぎ～」	公益社団法人札幌市子ども会 育成連合会	54 名
9	8/6(火)	親子工場見学会 「セメント工場を見に行こう！」	一般社団法人セメント協会、 日鉄セメント株式会社	36 名
10	8/10(土)、 11(日)	「みんなで学ぼう血液のこと」	北海道赤十字血液センター	226 名
11	9/8(日)	「発見・体験 文化の秋～遊ぼう！ 学ぼう！あつべつ・えべつ」	かるちやる net	10 名
12	9/15(日)	「新さっぽろコスプレフェスタ 2」	札幌学院大学、 新さっぽろ副都心開発公社	114 名
13	10/5(土)	「ジオ・フェスティバル in Sapporo 2024」	ジオ・フェスティバル in Sapporo 実行委員会	1,298 名
14	10/19(土)～ 11/30(土)	スーパーサイエンスハイスクール への協力(生徒が作成した展示物 紹介多言語パネルを展示)	札幌日本大学高等学校	—
15	10/19(土)	親子で火山実験「知りたい！北海 道の火山いろいろ」	日本火山学会	30 名
16	10/26(土)	「灯台記念日特別企画展」	海上保安庁第一管区海上保 安本部	1,987 名
17	11/17(日)	「マイコンレーサー北海道大会」	北海道ロボット教育推進会	13 名
18	1/9(木)、 10(金)	「CISE サイエンスフェスティバ ル」	CISE ネットワーク	約 200 名

	実施日	内容	団体名	参加者数
19	1/12(日)	「聞こえない低音の世界」	北海道情報大学、九州大学、高知工科大学、産業技術総合研究所	約 60 名
20	2/18(火)～ 3/2(日)	「私たちの科学研究展示会」	札幌市中学校文化連盟	—
21	2/23(日)	「学ぼう 宇宙探査 月面ライフをシミュレーション」	JAXA 国際宇宙センター	25名
22	3/27(木)、 28(金)	「みんなで学ぼう血液のこと」	北海道赤十字血液センター	161 名

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文指導員の養成

天文教育の普及を担う人材の養成に向けて、定期研修や天文事業への参加機会を提供した。

【実績】登録者数 43名

イ 展示ボランティアの養成

科学について学びたい市民に自己啓発と活動の場を提供するとともに、来館者へ展示物の理解を促すため、検討委員会での有識者の意見を交えながら、展示ボランティア「フロアサポーター」を養成した。

【実績】検討委員会 2回

フロアサポーター養成講座 8 回

フロアサポーター実践研修 13 回

フロアサポーター 定例研修 4 回

フロアサポーター登録者数 14名

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(ア) 科学技術に関する資料の収集

実演や展示物の解説、展示物の更新・改良の基礎資料とするため、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。

(イ) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した天体写真などの資料を収集した。

【実績】4月 「ポン・ブルックス彗星」

5月 「CSS(中国の宇宙ステーション)と太陽」「低緯度オーロラ」

10月 「低緯度オーロラ」「紫金山・アトラス彗星」

1月 「オーロラ」

イ 科学情報の提供・学習支援

(ア) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内の公共施設などで配布した。

【実績】 6 回発行(5・6 月号、7・8 月号、9・10 月号、11・12 月号、1・2 月号、3・4 月号)
計 50,000部

(イ) 天文相談コーナーの運営

天文指導員が主体となり、展示室内で宇宙空間シミュレーター「Mitaka」を用いたデジタルシアターを上映し、その後観覧者からのさまざまな質問に答える天文相談を実施した。

【実績】 サイエンスホールでの天文相談
7/28(日)、8/4(日)、24(土)、25(日) 1,720 名
サイエンスショーコーナーでの天文相談
1/5(日)～14(火) (1/12(日)は除く) 250 名

2 青少年科学館等管理運営事業

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(ア) 常設展示

「見て、触れて、考える」をテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらうための展示を行った。

(イ) 展示実演等

a サイエンスショー

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
4/1(月)～7/31(水)	「炎いろいろ… 燃えかたのナゾをときあかせ！」	344 回	11,651 名
8/1(木) ～11/30(土)	「どんどん軽く どんどん強く！」	344 回	8,347 名
12/1(日) ～3/30(日)	「バチッ！バチバチッ！静電気のひみつを見せまショー」	372 回	7,700 名
毎週土曜日、 3/31(月)	「レモンのチカラ」 ※ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社との連携	204 回	6,506 名
12/21(土)、22(日)	クリスマススペシャル企画「バーニングサイエンスショー」	2 回	170 名
3/29(土)、30(日)	春休みスペシャル企画「バーニングサイエンスショー」	2 回	160 名

b ちょびっとサイエンス

土曜日・日曜日・祝日に展示室の入口付近のカウンターで簡単な科学実験や実演を行った。

【実績】

実施月	内容	回数	参加者数
4月	空気砲 DE 的あてゲーム	7 回	6,937 名
5月	お魚かくれんぼ	10 回	5,276 名
6月	きえる・みえるふしぎなカード	9 回	3,852 名
7月	ペットボトルで雲をつくろう！	7 回	2,654 名
8月(一部7月実施)	見えないものが見える？赤外線のおしぎ	12 回	3,580 名
9月	さかさまおえかき	11 回	1,722 名
10 月	岩石ホリダー	9 回	2,084 名
11 月	ブラックライトで光るものを見てみよう！	10 回	2,540 名
12 月	超能力？不思議な音や振動の伝わり方	7 回	1,318 名
1月	サブクエスト～体力を強化しよう～	8 回	2,853 名
2 月	キラキラ スノー スペクトル	10 回	2,964 名
3 月	おさかなびよんびよん	10 回	2,260 名

c 低温プレイグラウンド

－30℃の低温展示室内で、氷等を使った実演・体験を行った。

また閑散期には、通常よりも寒さを強く感じさせる「超低温プレイグラウンド」を実施した。

【実績】 通常実施 1日4回(定員 各回 15 名程度)

超低温プレイグラウンド 10 回 349名

(ウ) 実験・実習への協力

a 学習サイエンスショー

【実績】

実施日	対象・内容	回数	参加者数
9/26(木)	前田小学校「すごいな空気」	1回	60 名
11/19(火)	日新小学校「すごいな空気」	1回	120 名

b 教育支援センター宮の沢オンラインコース

札幌市教育センターからの要請を受けて、不登校児童・生徒を対象にしたオンライン授業に協力した。

【実績】 1/29(水) 参加者数 10 名

イ 特別展等

(ア) 特別展

小中学生の長期休業期間に、特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示を開催した。

【実績】夏の特別展「科学捜査展 ―サイエンス町を救え！―」

実施期間 7/26(金)～8/25(日)

来場者数 82,907 名

冬の特別展「勇者シリコンの大冒険～半導体ダンジョンを攻略せよ～」

実施期間 1/5(日)～19(日) ※1/15(水)は休館日

来場者数 14,825 名

(イ) 環境科学展

企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、子どもたちにわかりやすく紹介する科学展を開催した。

【実績】実施日 9/7(土) 来場者数 1,372 名

(ウ) 中高生によるサイエンス広場

中学校や高等学校の科学部等に、研究成果を発表する機会を提供するとともに、生徒が企画・運営する科学体験ブースを設け、来場する子どもたちが体験できるイベントを開催した。

【実績】実施日 11/30(土) 来場者数 1,456 名

(エ) 連携事業による企画展

札幌市からの依頼により、GX（グリーントランスフォーメーション）に関する企画展を開催した。

【実績】秋のスペシャルウィークス エネルギーの未来を考えよう！

実施期間 11/1(金)～10(日) ※11/5(火)は休館日

来場者数 13,441 名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影

(ア) 一般投影

職員による解説を含む投影で、年齢や理解度に応じて柔軟に対応し、市民にわかりやすい星座、天文の解説を行った。

【実績】実施回数 1,436 回 参加者数 165,258 名

(イ) 学習投影

小中学校を対象に、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、理科授業の一環として、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。

【実績】実施回数 151 回(小学4年生:162 校、小学6年生:61 校)

参加者数 20,201 名

(ウ) オート番組制作

プラネタリウム投影時に上映するオリジナルオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を青少年科学館の特色・独自性を生かして制作した。また、市販の番組上映権を購入し、プラネタリウム投影の充実を図った。

イ プラネタリウム特別投影

(ア) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、タイムリーな話題や現象を深く掘り下げたり、観覧者が主体的に関われる謎解き要素を強く打ち出したりするなど、普段とは異なる切り口から企画した特別な投影を行った。

【実績】

実施日	対象・内容	回数	参加者数
8/10(土)、11(日・祝)	「謎解きプラネ-ボイジャーが託したメッセージ」	2回	325名
11/23(土・祝)	「熟睡プラ寝たリウム おやすみなさい星の下で」	1回	163名
12/21(土)、22(日)	「中垣哲也オーロラ投影&トークショー」	2回	360名
2/8(土)、9(日)	「SNOW MIKU ナイトプラネタリウム」	2回	400名

(イ) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な方々にも楽しんでもらえるように、字幕付きの投影を行った。

【実績】 実施日 9/22(日・祝)、23(月・振休) 実施回数2回 参加者数359名

(ウ) キッズプラネタリウム

親子でプラネタリウムを楽しんで頂けるよう、未就学児とその保護者を対象とした投影を行った。

【実績】 実施日 2/18(火)、3/18(火) 実施回数2回 参加者数 400名

(エ) プラネタリウム祭り

プラネタリウムの魅力を広く市民へ伝えるために、普段は実施していないコンサートや他団体とのコラボ企画のプラネタリウムなど、科学分野以外のジャンルと組み合わせた新しい内容の投影を数日にかけて実施した。

【実績】 12/7(土)、8(日)、14(土)、15(日) 4日間合計 参加者数 3,061名

ウ 天体観望事業

(ア) 科学館観望会

科学館公園や館の玄関前、駐車場や屋上など館の敷地を活用し、誰でも気軽に参加できる天体観望会を開催した。望遠鏡を用いて各季節の星や月の観望を行い、天体に対する興味関心を喚起した。

【実績】 実施日 8/10(土)、11(日・祝) 実施回数2回 参加者数約350名

(イ) 札幌市天文台公開

天文に関する興味・関心を高めるため、中島公園内の札幌市天文台を公開し、日中は太陽を、夜は季節の星座を中心に観望会を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大時への対応として、予約制を取り入れていた夜間公開については、4月から以前のように予約を必要としない形式に戻した。

【実績】実施回数 641 回 参加者数 26,930 名

(ウ) 昼間の星を見よう！

青少年科学館正面玄関前に望遠鏡を立て、開館時間中に日中の太陽や金星等の様子を観望する会を実施した。過去には屋上の天文台を活用して実施していたが、再開館後の混雑状況を鑑み、より多数の方が参加しやすい玄関前を会場とした。

【実績】実施回数 4 回 参加者数 約 300 名

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

青少年科学館の行事を掲載した広報誌を発行し、市内の公共施設、幼稚園、小中学校などに配布し、市民への情報発信に努めた。

【実績】12 回 計 82,600 部

イ 札幌市青少年科学館運営協議会の開催

青少年科学館の事業や運営についての意見を今後の改善に生かせるよう、外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】3回(7月、11月、3月)

ウ 科学館感謝デーのイベント

昭和 56 年 10 月の青少年科学館の開館を記念して、館内をめぐる謎解きイベントを行った。

【実績】10/5(土) 参加者数 51 名

エ リニューアルオープン対応

(ア) オンライン予約システムの導入

展示室及びプラネタリウムにおいて、オンラインでの事前予約及び事前決済を導入し、スムーズな入場を促した。

(イ) 混雑時の誘導対策

混雑対策のため、展示室内に誘導人員を配置したほか、整理券発券機を導入するなどして、緩和を図った。

【青少年科学館利便性向上事業（中期経営計画・重点取組事業）】

中期経営計画の内容

団体向けオンライン予約や当日券販売における自動券売機、キャッシュレス支払いの導入など、スムーズな来館者受付手続きを進め、利用者の利便性向上を図る。

令和6年度の取り組み

団体予約の受付システムやキャッシュレス支払いに関する他都市の先行事例の調査を行った。

【青少年科学館魅力アップ事業（中期経営計画・重点取組事業）】

中期経営計画の内容

リピーターの確保や新規来館者の開拓に資するよう、事業や展示物の充実を図る。

令和6年度の取り組み

札幌市が取り組む環境課題や先端技術に関するイベントを実施したほか、話題性のある科学現象をテーマにしたイベントを開催し、魅力アップに努めた。

中でも環境課題に関しては、札幌市からの依頼により、GX(グリーントランスフォーメーション)に関する企画展を開催した。人力発電を体験できるコーナーの設置や、水素自動車の展示を行った。

物品販売等事業

(定款第4条第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

青少年科学館への来館者へのサービス向上を目的として売店事業を行った。再開館による来館者増を見込み、商品ラインナップの強化や販売促進を行い、増収増益を図った。

(2) 自動販売機の設置・販売

生涯学習センター、青少年科学館ともに、来館者へのサービス向上を目的として自動販売機の設置を行った。

(3) 飲食店の運営

生涯学習センターの「Chie Terrace(ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン株式会社に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

また、ちえりあ前広場を有効に活用するための試みとして、サークル発表会の開催時期に合わせてキッチンカー業者に依頼し、営業いただいた。

生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第5・6号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益以外の目的に対し、ちえりあホール及び各種研修室を貸与した。

(2) 駐車場管理業務

生涯学習センターで駐車場の管理運営を行った。

※ 床面防水工事のため 6/10(月)～6/21(金)の間閉鎖

(3) 施設管理受託業務

札幌市生涯学習総合センター内の札幌市教育センター、札幌市宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢などの警備・清掃業務を行った。

その他重点取組事業

【自立型職員育成事業(中期経営計画・重点取組事業)】

中期経営計画の内容

職員一人ひとりについて、「人材育成基本方針」における「目指す職員像」を意識させ、自立型職員へと成長させていく。

令和6年度の取り組み

一人ひとりの職員を「人材育成基本方針」の「目指す職員像」に掲げる「自立型職員」へと成長させていくための第一歩として、職員の意識に訴えるような動画研修、全係長職への一人 90 分間の面談、それに基づく組織分析、目標管理の体験（係長職、一般職）、その体験結果に基づく職位別（係長職、一般職）の集合研修などを業務委託により実施した。

【経営安定化推進事業(中期経営計画・重点取組事業)】

中期経営計画の内容

今後見込まれる赤字幅の圧縮、解消を目指し、さまざまな経営安定化に向けた取り組みを進めていく。

令和6年度の取り組み

経営安定化に向けた札幌市との協議を行った。

また、職員に対しては、現在の経営状況と今後の見通しについて説明し、意識啓発を図った。

さらに、令和7年度予算編成過程において、これまで以上の経費の圧縮に努めた。（ただし、人件費などの増に伴い、5,700 万円の赤字予算となっている。）

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年6月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

令和6年度 管理運営施設利用状況

◆ 札幌市生涯学習センター

◇貸室利用状況

項目		令和6年度	令和5年度
貸室全体	利用率	70.2%	74.1%
	利用人数(人)	457,065	412,830
1日あたりの利用者数(人)		1,317	1,189

◇主な貸室の利用状況

項目		令和6年度	令和5年度
ホール	利用率	68.1%	71.1%
	利用人数(人)	155,845	135,465
講堂	利用率	66.9%	70.1%
	利用人数(人)	72,110	63,786
大研修室	利用率	73.8%	76.1%
	利用人数(人)	33,093	30,974
中研修室1	利用率	66.3%	74.1%
	利用人数(人)	21,369	21,238
中研修室2	利用率	71.2%	81.9%
	利用人数(人)	21,336	22,957
演劇スタジオ1	利用率	90.5%	97.4%
	利用人数(人)	14,717	12,717
演劇スタジオ2	利用率	90.2%	96.0%
	利用人数(人)	8,569	7,547
音楽スタジオ1	利用率	91.4%	91.4%
	利用人数(人)	5,118	3,879
音楽スタジオ2	利用率	90.8%	96.0%
	利用人数(人)	6,193	5,248
映像スタジオ	利用率	66.9%	62.9%
	利用人数(人)	10,995	8,126

◇メディアプラザ利用状況

項目	令和6年度	令和5年度
メディアプラザ利用人数(人)	168,912	135,448
一日あたりの利用者数(人)	497	397

◆ 札幌市青少年科学館

◇観覧者数

		令和 6 年度			令和 5 年度
		個人（人）	団体（人）	合計（人）	合計（人）
展示室	大人	183,138	13,179	196,317	0
	小人	164,370	48,619	212,989	0
小 計		347,508	61,798	409,306	0
プラネタリウム	大人	85,536	5,932	91,468	0
	小人	64,712	29,262	93,974	0
小 計		150,248	35,194	185,442	0
合 計		497,756	96,992	594,748	0
1日あたりの観覧者数 （人）		1,982			0